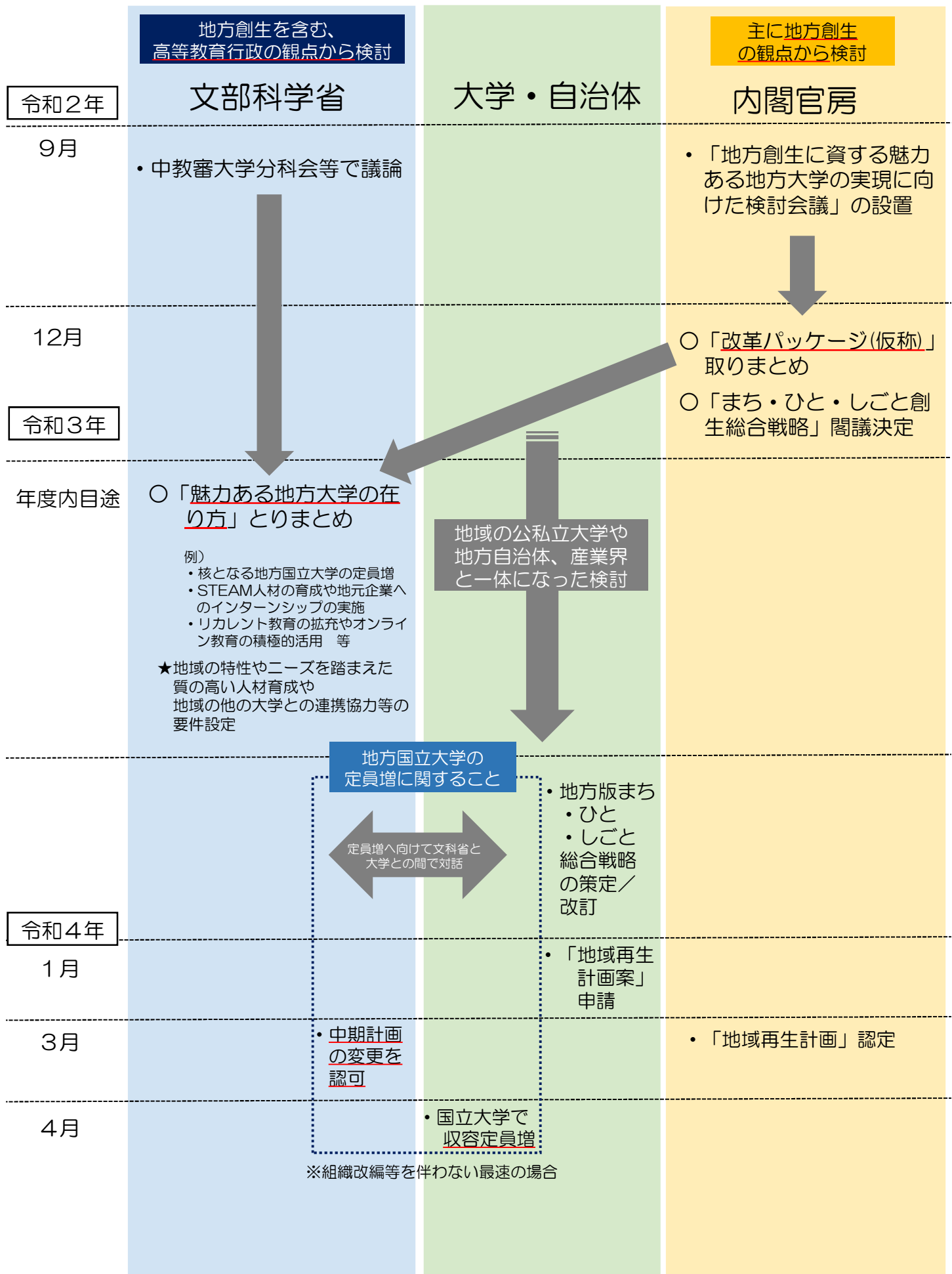


地方大学の振興に関する今後の流れ



地方国立大学が定員増を行う際に必要となる事項（イメージ）

（地方創生）

- 学長の強力なリーダーシップのもと、各大学の強みを生かし、若者の地元定着につながるなど、他大学の模範となる意義のある、地方創生に資する取組であること。

（地域における雇用創出・産業創出、リカレント教育）

- 自治体、地元産業界等との連携組織を設け、地域の特性やニーズを踏まえた、イノベーションの創出や社会実装に本気で取り組むことで、地域の産業創出や若者の雇用創出に貢献する取組であること。
- リカレント教育を通じたキャリアアップ・キャリアチェンジ支援など、地域ニーズを踏まえた人材育成に資する取組であること。
- 上記について、学部、大学院を通じた教育研究の質の向上、外部資金の獲得や外部人材の登用を含む人事制度上の工夫等について計画性・透明性を持った取組が担保されていること。

（地域における緊密な連携）

- 地域連携プラットフォームを通じた地域構想の策定や、オンライン教育の活用による地域の他大学との連携、地元企業と連携したインターンシップの実施など、地域の他の公私立大学をはじめとする高等教育機関や、地方公共団体、産業界と緊密な連携がなされた取組であること。

（中長期的なKPIの設定）

- ステークホルダーへの説明や結果責任へのコミットの観点から、中長期的なKPIの設定を求める。

※ 「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」における議論のまとめを踏まえ、今後、中央教育審議会において高等教育行政に関する専門的見地から詳細に議論。